



安倍昭恵氏、末武信宏氏。二人が手にしているのは、末武信宏氏の作品「宇宙の花」。対談が決まり、昭恵氏に渾身の作品をプレゼントしたい、と末武氏が3ヶ月がかりで作製したものです。右ページの写真と説明文をご参照ください。

元内閣総理大臣夫人
社会貢献支援財団会長

安倍昭恵 (あべ・あきえ)

昭和37年、東京都生まれ。昭和62年、安倍晋三氏と結婚。平成18年、安倍元総理（第90代）の韓国・中国訪問で、ファーストレディとして実質的な外交デビュー。平成24年10月、神田に居酒屋「UZU」を開店。平成24年12月より、安倍氏の第96代内閣総理大臣就任により再びファーストレディとして活動。公益社団法人 社会貢献支援財団会長。著書に『安倍昭恵の日本のおいしいものを届けた！ 私がUZUを始めた理由』（世界文化社）『「私」を生きる』（海竜社）『どういう時に幸せを感じますか？』（ワック）。

さかえクリニック院長
医学博士・アーティスト

末武信宏 (すえたけ・のぶひろ)

昭和37(1962)年1月10日岐阜県生まれ。昭和62年、岐阜大学医学部卒業。平成8年(1996)、さかえクリニック開業(外科、内科、皮膚科、形成外科、美容外科)。平成23年、順天堂大学大学院医学研究科博士課程卒業。トップアスリート株式会社代表取締役就任。令和5年、ヒューマンテクノ株式会社代表取締役就任。順天堂大学医学部病院管理学非常勤講師、日本美容内科学会理事・広報委員長・学術委員、日本肺活協会理事、第88回日本美容外科学会会長、JBC公認プロボクシングトレーナー。平成26年からアーティストとしての活動もスタート。令和5(2023)年11月24～26日、皇室御香華院御寺泉涌寺にて、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏と個展を共催。著書に『先端アンチエイジング医療』『アンチエイジング医療最前線』『次世代美容医療×アート』（KKロングセラーズ）ほか。

安倍昭恵／めいそう神経ですか？ 初めて聞きます。

末武信宏／迷って走る、と書いて「迷走神経」です。脳幹という場所から出ていますが、迷うほど身体中を長く走っている神経なのです。この迷走神経が活性化されると、免疫機能や呼吸機能も上がりますし、頭もクリアになり、腸内細菌叢のバランスも整います。身体のあらゆる不調や疾患が改善し、集中力が向上することは、世界中の研究でエビデンスのある医学的事実として確認されているのです。

この迷走神経を強化するという研究や臨床応用を25年間、順天堂大学医学部の小林弘幸教授とやってきました。その最終的な一つの形が「肺活」という、呼吸とエクササイズを組み合わせる迷走神経を刺激する方法です。

息を吸うと心拍数は上がり、吐くと心拍数は下がります。この心拍変動(HRV)が大きければ大きいほど、迷走神経の機能が上がるということが科学的に証明されています。

この「肺活」を行うことで、劇的に集中力が高まりますし、様々な病気に効果があり、痛みも取れあらゆるパフォーマンスが向上します。ですから、安倍晋三先生にもご指導させていただいていました。

特別対談

元内閣総理大臣夫人・社会貢献支援財団会長

安倍昭恵

× 医学博士・科学者アーティスト

末武信宏

人間のソフトウェアをアップデートする！

安倍晋三元総理の体調を令和4年(2022)1月からケアをしていた医師であり、アーティストとしても活動している末武信宏氏。日本の素晴らしい技術力を再び、海外にも発信したい！と様々な活動を展開しています。末武氏たちの研究で生まれた、日本の科学力を結集した、ヘルスケアの画期的なデバイス(機器)を、安倍昭恵氏も早速試すことに。「肺活」、迷走神経刺激療法、前世療法……と次々に興味深い話が展開されました。

人間のソフトウェアのアップデート

末武信宏／医師として安倍晋三

先生のお身体をケアさせていただき、また、昭恵さんがアートでコラボされているヒロト・ラクショウ先生とは、私もアーティストと



末武信宏氏の作品「宇宙の花」。オパール、ルビー、サファイアの原石や、シトルリン、アメジスト、翡翠などの鉱石や真珠など。そして、ローマ帝国内で製造・流通したガラス製品「ローマングラス」、ローマコイン、カメオ、iPhoneの基盤、時計の部品などがちりばめられています。地球が作り上げたものと、人類の作ったもので構成されている、まさに「宇宙の花」なのです。

して一緒に「ザ・ダ・ヴィンチ・アートプロジェクト」をやらせていただいております。そのため昭恵さんとも、強いご縁を感じております。

神田神社での「安倍晋三^{うののみこと}大人命御霊祭^{みたままつり}」や「和合紫会」でご挨拶はさせていただきましたが、じっくりお話しするのは今回が初めてです。

安倍昭恵／末武先生は、お医者さんとしては何が専門なのですか？

末武信宏／医学部卒業後は外科専攻でそれから美容外科の領域へ。現在、開業医をしているのですが、手先が器用だったので現在は、非常にアーティストに近い美容外科診療をやっています。内科、皮膚科、形成外科も標榜しています。

また、研究者としては順天堂大学医学部で小林弘幸教授と、「自律神経」という、人間のソフトウェアの研究をもう25年しています。

安倍昭恵／人間のソフトウェア

とは、どういうことなのですか？

末武信宏／例えるならパソコンにはハードとソフトがあり、ソフトがOSです。マイクロソフトが大きくなったのは、このOSを開発してアップデートしていく会社だからです。すなわち私たちは、それをパソコンではなく、人間を対象に行っています。

人間の中で、自律神経というのは、考えること以外の生命活動すべてを行っています。心臓を動かしたり、呼吸したり、消化したり、代謝したり、様々なホルモンを分泌したり、血圧や体温を調整したり……。それらすべて、自分で考えて動かしているわけではありません。考えなくても、我々が生きているのは、自律神経がコントロールしているからなのです。

この自律神経の中で一番重要なのが、脳幹から出ている脳神経の一つ「迷走神経」です。この迷走神経がセンサーやコントローラーの役目をしていて、例えば声を出すこと、発声も迷走神経ですし、物を飲み込む嚥下運動も迷走神経ですし、ほとんどの臓器や脳、声帯、咽頭をコントロールしています。

安倍昭恵／あ、一生懸命、呼吸はやっていました。

国会中にもイライラすると、いつも呼吸で整えていました。

末武信宏／オリンピックに出るトップ・アスリートの指導プログラムや、宇宙飛行士のトレーニング・アスリートをトレーニングするプログラムの中にも導入され世界標準と言えます。順天堂大学医学部の私どもの教室（病院管理学）でも、日本を代表するトップ・アスリート達をたくさん指導・支援しています。

迷走神経を刺激すると脳が活性化

末武信宏／迷走神経を活性化させることは、認知症や、脳梗塞、鬱病、パーキンソン病、てんかん、発達障害の子供達にも効果があることが分かっています。

2022年「ランセット」という世界最高峰の医学雑誌のプレプリントに、コロナの後遺症が迷走神経の障害だという論文が公開されてまして……。

安倍昭恵／あ、『ランセット』知っています。私もエイズの発表しました、イギリスで。

末武信宏／え、すごいですね。

で、ベーガルとは迷走神経のことで、ヒーラーとは癒すという意味です。

今、アスリートや発達障害の子供達に使っていますが、劇的な集中力向上、感情のコントロール状態が現れています。

安倍昭恵／それは普通の人が使っても良いものですか？

末武信宏／勿論です。医療機器ではありませんので疾患の治療目的には使用できませんが、集中力が高まりますし、ストレスも緩和し癒され、様々な不調にもアプローチできると思います。胸鎖乳突筋を緩め呼吸も楽になります。

その後、Clinical Microbiology and Infection に査読論文として掲載された研究なんです。つまり迷走神経を治せば、コロナの後遺症は治る可能性があるという研究報告からそれ以降、世界中で、迷走神経を刺激すると脳が活性化されるという研究論文が発表されています。神経変性疾患に「迷走神経刺激療法」が薬も投与しないで効果がある、と言われているのです。

それは、私たちが順天堂大学医学部で長年研究してきたことでもあります。母が視覚障害者でしたので、私は障害者の支援もボランティアでやっておりまして、発達障害の子供達が「肺活」で元気になるのです。劇的に集中力が高まり、多動が改善するのです。

また、発達障害の支援施設で介護をやっているスタッフや保護者にもやってもらっていて、非常に良い結果が得られています。ですから、「肺活」を発達障害の子供だけでなく、親御さん達にもやってもらいたい、疲弊されていますから。今、発達障害の支援施設からのオフアームもすぐあるのです。

安倍昭恵／私は大阪の会社の社外取締役もやっていて、そこでは発達障害だけではないのですが、そのメガネをかけることによつ

て発達障害も治っていく、というメガネの開発をHOYAさんとやっています。三色の光がきちんと脳に届くかどうかによつて、発達障害も改善していくと……。

やはり、光を入れると良いのですよね？

末武信宏／それは視神経になるのですが、嗅神経とか、聴覚神経、顔面神経とか、そういう脳神経を刺激すると脳幹にダイレクトに繋がっていますから、脳が活性化することとは分かっています。

脳幹からサイトカインという脳を活性化し炎症を抑える物質が出て、脳機能を向上させる。世界中にそのような論文があつて、科学者がエビデンスを確立したもののの中に「迷走神経刺激療法」があるのです。

迷走神経の支配領域が耳のところにあつて、ここを刺激すると発達障害、認知症が改善したり、鬱が治つたり……脳梗塞による麻痺の人も、ただりハビリするより、ここを電流で刺激しながら、リハビリすると劇的に良くなることが分かっています。

安倍昭恵／そこには電流による

での「書と創作箔のアート展」は素晴らしかったですね。

安倍昭恵／最近、次々とまわりの人たちがアーティストになっていくのです。私もアーティストには憧れていたのですが、全然自分がアーティストだとは思っていません。アーティストは湧き上がるものがあつて、それを表現するのでしょう。でも、私には何も湧き上がってきませんから。

どうも酔っ払つて「アーティストになりたい」とか言っていたらしいのです。私でも字なら書けるのでは、ということ、ラクシウ先生の箔の上に書かせていただいたのですが、本当に緊張いたしました。

末武信宏／私もラクシウ先生とは、皇室と関わりが深いお寺・泉涌寺で、初の個展を彼と一緒に共催させていただきました。「ザ・ダ・ヴィンチ・アートプロジェクト」という商標登録も一緒に取りまして、レオナルド・ダ・ヴィンチの再来を日本



究極のヒーリングデバイス【ベーガル・ヒーラー (Vagal Healer)】。

刺激だけなのか、手でも良いのですか？

末武信宏／手でやっても勿論良いです。ただし、電流の方が強さを調整しやすいので。十段階にすると、何ミリアンペアで、とか。論文を書く時は数値化しないと科学になりませんから、電流による刺激で研究してきました。

空気清浄機などで知られる日本のデザイン家電トップメーカー、株式会社カドー (cado) 様と共同で、その迷走神経を温熱・振動・骨伝導によつて刺激するヘルスケアデバイスも実は開発しています。「ベーガル・ヒーラー (Vagal Healer)」というデバイス (機器)

人が果たそうと活動しています。

ラクシウ先生は、安倍先生が伊勢志摩サミットの晩餐会で、各国首脳に披露した尾形光琳作の屏風、それを復元した世界的金箔アーティストです。いろいろと、ご縁が繋がっていますね。

安倍昭恵／友人達とスリランカに行くことになり、私はスリランカの大統領にお会いするので、「お土産を持っていくのなら、ラクシウ先生の作品はどうか」と友人がいくつかの作品の写真を送ってくれました。オススメはこれ、というのがあつて、スリランカの大統領にはそれを選んだのですが、その中にどうしても気になる作品があつたのです。

ラクシウ先生に、個人的に欲しいので「買わせて欲しい」とお願いしたところ、「この作品は、安倍先生が亡くなった後、先生を思つて作った作品です」と言われまして、とても驚きました。私はそんなことを思つて選んだわけではないのです。感覚的にアートとして欲しかっただけだったので……。何かが繋がっていたんだな、と思つて。

富ヶ谷のマンションから引越して手狭になったのですが、その作品だけは居間にずっとかけています。

安倍昭恵「書」× 裕人礫翔「箔」

Akie Abe “Calligraphy” × Hiroto Rakusyo “Metal Leaf”

書と創作箔のアート展

Art Exhibition – Theme: “YUI (Connection)”

2025.11.1 | 土 ————— 2025.11.9 | 日

開場時間：9時～17時 Opening hours : 9:00-17:00

会場：清水寺 成就院 Joju-in, Kiyomizu-dera Temple

末武信宏／エネルギーで繋がったのですね。

安倍昭恵／エイコン・ヒビノ先生の音楽も、すごく良いですね。主人の部屋にCDがあつたのです。私の部屋で聴いた若者達もとても気に入って、購入したようです。あれも、末武先生からいただいたものだったのですね。

末武信宏／やはり私も順天堂大学医学部の研究室で、528Hzの周波数の音楽が自律神経にと影響を与えることが分かってきて……。ワンワン吠えている犬や、激しく泣いている赤ちゃんも、あの音楽を聴かせると泣き止んだり落ち着くことがあります。528Hzの周波数の音楽をベースにピアニストとして活動しているエイコン・ヒビノ先生は、平成17年に第47回日本レコード大賞企画賞を受賞しています。

先ほどの「ベーガル・ヒーラー (Vagal Healer)」の新バージョンにも、自律神経に効く音楽として組み込みます。日本の科学力を結集した、ヘルスケアの画期的なデバイス（機器）になると思います。

かつて日本は科学立国として、東芝、NEC、シャープ、ソニー、パナソニックなどの電化製品、ハイテク産業が世界中で注目されていました。しかし、今は見る影もあ

りません。ですから、順天堂大学医学部でやっている研究を生かし、ヘルスケアの分野や、アートなどで、再び日本の技術力、日本人のスキルの素晴らしさを海外にもアピールしたいと思っています。

安倍昭恵／いろんなことをやっておられて、先生は宇宙人のようですね。

末武信宏／ああ、そうなんです、おそらく金星からできて……。実は前世療法をやった方々に、自分の起源を聞くと、全ての人から金星と言われました。

学術的な「魂」の存在の研究も、中部大学の研究室と一緒に、世界で初めて、私のクリニックで魂の証拠と学術評価を受けた、前世の記憶の証拠を映像に収めました。退行催眠で前世の状態に誘導すると、被験者の方が学んだことのない言語がネイティブ話せるようになりまして。その会話の中に出てきたネパールのナル村まで、実際にテレビの「奇跡体験！アンビリバボー」のロケ隊が行って、現地調査や言語解析などを実施してくれました。

また、被験者のご婦人には、天明3年（1783）7月7日に浅間山が噴火した時に、人柱になって亡くなっている黒澤タエという名前の16歳の少女の前世も想起さ

れました。浅川村で亡くなった、と。やはり、ロケ隊が群馬県の現地で役場の資料、史実をリサーチして、ご婦人の証言と符合していることを突き止めています。

私たちは中部大学の研究チームと、退行催眠で出てくる名前、住所、亡くなった理由、時代背景、あと言語に關して一致することを論文にして示し、科学的に認められる「真性異言」として国際生命情報科学会で学術発表しました。【退行催眠時に生じる異言とそれが示唆するもの (CNS Research)】

安倍昭恵／すごいですね。先生には、金星時代の記憶とかはあるのですか？

末武信宏／それはいいですね。ただ、紀元前352年に神官をやっていたことは分かります、ギリシャのアテネで。そして、その時の兄が、今の息子だったようです。私の息子は、出産時に重篤な仮死状態で、まったく泣くこともなく動かなくて黒ずんだ状態で生まれてきました。産婦人科医がものすごく焦って、「大学から緊急で小



末武信宏氏、安倍昭恵氏。令和7年（2025）11月4日、神田神社で執り行われた「安倍晋三夫人命御霊祭」の直会にて。

世療法を行ってきた医者だと思えます。前世療法という言葉があるように、魂には前世の魂の傷（トラウマ）があるようです。

例えば、「ずっと膝が痛い」と訴えていた患者さんがご来院され、「何をやっても、どの病院に行っても治らない」と、私は、ひよっとしたら魂が原因かもしれないと。患者さんの強いご希望から前世療法をやってみて、中世のヨーロッパで膝を矢で射られていたことが分かりました。その状況を見たら、その日から痛みが全くなかったのです。原因が分かったので、魂が納得したのではないかと考えています。

また、不眠症で「どんなに睡眠薬を飲んでも眠れない」と悩んでいたご婦人に、前世療法を導入した時は、792年に伏見山というところで、30代から寝たきりになつて「起きたい、起きたい」と願って43歳で亡くなられた女性だったことが分かりました。その前世の場面が想起された当日から、睡眠薬がなくても眠れるようになりました。

エビデンスが確立された医療行為ではないため、経過観察および診断は医学の見地から極めて慎重に行い、これまでの実施はすべて無償で対応してまいりました。対象は、研究目的での検討や強いご

魂の記憶といつもものもある

希望があつた場合に限り、信頼関係が確立している知人・友人のみに限定しております。（現在は実施しておりません）

前世療法では、様々な方々が非常に具体的なことを語って、事実との一致などその整合性がかなりあります。

末武信宏／科学者として、前世、魂は存在すると信じています。まだまだエビデンスは確認できませんが、魂の存在、超能力と想定される特殊な能力の存在も否定できません。「真性異言」と言う、前世療法をやった時に今世で学んだことのない言語を話した場合、魂が存在する証拠として科学的に認められるという、学術的に世界共通の認識があります。

テレビの「奇跡体験！アンビリバボー」が取り上げてくれたのは、ごく普通の50代の主婦の方ですが、退行催眠をするとネパールのタマン族のナル村の村長ラタ・ラジュールだった前世と、江戸時代に浅川村で浅間山噴火を鎮める人柱にされたタエという名前の女の子だった前世の記憶が出てくるケースでした。退行催眠した時に話す言語が、ネパールのタマン語であるこ

とを中部大学の言語文化専攻の教授がつきとめ、留学中のタマン族の大学院生と、私のクリニックで対話してもらい『応答型真性異言』という世界初の魂の存在の証拠映像を撮影できました。

魂の記憶というものが、確かに存在するのだと思います。ほとんどが消されて、肉体に収められています。例えば、それが痛みであったり、湧き上がってくる何かの激情であったり、誰かに会った瞬間の抑えきれない感情であったり、そのような形で現れてくる

魂の記憶というものが、確かに存在することが多くの事例で確認できたのではないかと思います。

しかし、医師、科学者の立場からは魂や霊現象に関しては、まだまだ不明な点も多く、慎重にエビデンスをベースに考え、起こった事実を全て妄信しないように学術的に検討するべきと考えています。

★次号でも、前世療法やヒーリング、「陰陽五行論」と「エナジカラー」など、お二人の興味深い対談をご紹介します。



令和8年（2026）4月7日、美しい国・日本を守る国民会議の打ち合わせで、新橋第一ホテル「明石」にて。前列に神谷光徳氏（美しい国・日本を守る国民会議発起人代表）と安倍昭恵氏。後列左から筑紫真先氏、末武信宏氏、左近美佐子氏。